

**令和5年第3回壬生町議会定例会
閉会中の継続調査報告書
(総務常任委員会)**

総務常任委員会委員長報告

総務常任委員会に係る閉会中の継続調査結果をご報告申し上げます。

令和5年第1回壬生町議会定例会において、閉会中の継続調査といたしました、所管における「みぶーぶの実証実験」について、5月11日、30日の2日間にわたり、全委員出席の下、調査しました経過と結果をご報告申し上げます。

令和5年2月16日より、新たな公共交通として町コミュニティーバス「みぶーぶ」の実証運行が始まりました。この実証運行は、利用者のニーズの把握や町民の利便性向上に資するルート等の検証をもとに、本格運行に向けて改善を行い利便性の高い公共交通へと発展させることを目的としています。このことを踏まえ、本調査を実施しました。

まず、10時40分本庁舎発の南回りの循環バスに乗車し12時7分本庁舎到着まで現地調査を行いました。その後、担当課より現在の運行状況、今後の改善等説明を受けました。

そのことを受け、委員より「利用者が増加傾向にあるという事ですが、一番良く利用されている区間は」という質問に対し「利用区間につきましては詳細なデータはまだ委託業者の方からいただいていませんが、目的地としてはスーパー、病院、駅が多いかと思えます」との説明を受けました。また委員より「利用促進、PRのために、みぶの日等イベント時に無料にする様な事を検討されているのか、

または予定があるのか」との質問に対し、「無料で乗車していただいて利便性を
知っていただくというのが一番のPRと考えています。みぶの日やこどもの日な
どに無料にすることは現在検討中で、実際に6月10日、栃木県誕生150周年記
念イベントの日に東武宇都宮線も無料となる予定ですので、そちらにあわせて
みぶ一ふの町内循環線につきましても無料にいたします。その他の日程について
も、地域公共交通会議に諮りまして、意見を伺いながら無料の実施について検討
していきます」との説明を受けました。委員より「北回り、南回りに加えて西回
りとか新しいルートを作るなど本来、駅から離れている地域の方々に利用して
いただくのが大変重要なので、採算だけでなく、色々な意味で稼働は難しいのか」
との質問に対し、「まだ3か月間のみと短い期間しか運行しておりませんので、
今後、費用対効果や町民の意見、また、地域公共交通会議委員の皆様意見を踏
まえて、より良い運行が図れるよう、慎重に内部又は外部の委員と将来的な公共
交通の在り方も含めて検討を重ねていきたいと考えています」との説明を受け
ました。委員より「今日乗車してみてバス停の区間が長いように感じたがバス停
を増やしていくことでのリスクは何か考えられますか」との質問に対し「バス停
を増やすことに対し物理的には可能ですが、交通量の激しい所で路肩が無い場
所に止めるとなると危険な場合もあります。そういうところであれば警察、運
輸局等の許可により設置が可能ですので、現在、内部で検討しているところです。

あまり増やしてしまいますと便数や運行時間に影響がありますので、現在の運行時間の範囲内でバス停の位置の変更や箇所増加について新たな路線も含め利便性の高いルートを検討していきたい」との説明を受けました。また、委員よりバス停以外での手上げ方式によるフリー乗車ができるよう要望があり、「安全性の確保が懸念されますが、手上げ方式でも可能なのか運輸局、地域公共交通会議等にも伺いながら早急に検討します」との説明がありました。委員より「幹線道路では無理かもしれないが、高齢者への対策としてベンチの設置など住民からの要望がありますが」との質問に対し「置ける場所、置けない場所がありますが、内部での検討をさせていただきます」との説明を受けました。

最後に「実際に乗ってみて初めて色々なことが見えてくるものがあると思いますので、そういう意味で老人会や自治会連合会等町には各種団体がありますのでその方々に乗車していただき、どうしたらもっと利用が増えるか、町民がもっと便利に使えるのか、町職員や運行業者ばかりが考えるのではなく実際に利用する町民の方に乗車の機会を設けて、色々な意見を伺って利用促進につなげてもらいたい」との意見に対し「利用促進につきましては、やはり交通弱者の方が一番利用すると思いますので、老人クラブ等を対象に無料乗車を検討し、さらに利便性を向上できるよう意見を伺う機会を作りたいと考えています」との説明を受けました。

以上、総務常任委員会の閉会中の継続調査結果報告とさせていただきます。

令和5年6月2日 総務常任委員会委員長 赤羽根信行